

9月山行報告

◆岡山県南部の丘陵 熊山山行

●日 時：9月3日（日）

●参加者：リーダー 砂川延也 他19名

【熊山山行の感想】 末松

カラッとした絶好の日和、昨晚と一昨晚を寝不足気味で、目がショボショボするのを抑えて7:06 発の土山駅をスタートする。姫路駅で皆さんと合流し、一路熊山へ。駅前でストレッチをし、登山口へ。地元の人のにげない挨拶がうれしかった。道幅も広く、小さな沢の横をたっぷりのマイナスイオンを浴びながらゆっくり登っていく。先日来の雨でまだ湿っていた。そんなに急な山道ではないのに、だんだん汗がふき出しボトボトと流れ落ちる。脂汗かな…と思うぐらいにしんどくなってきた。下山するまで何とか皆さんについて行けるようにと自分に言い聞かせていた。展望台で休憩。ほっと一息。吉井川や山々の連なっているのを眺めて田舎を思い出した。熊山神社参拝後、12 時前に昼食地の熊山遺跡に到着。家の近くでは聞かなくなったセミの声を久しぶりに聞きながらおにぎりをほおばった。30 分の休憩で気分も落ち着いた。

行動記録	着	発
姫路発		7:56
熊山駅	8:54	9:12
熊山登山口	9:22	
展望台	10:18	10:30
熊山神社	11:17	11:35
熊山遺跡(昼食)	11:40	12:15
岩尾根	13:00	13:13
弓削八幡宮	13:53	14:00
万富駅	14:35	
キリンビール 岡山工場	14:40	15:55
万富駅	16:00	16:08
姫路着	17:11	解散

下山はやはりペースが早く、段々に膝の内側とおへその辺りが痛くなってきて、前の人との間が少しずつ開き始めた。萩の花も少し咲いていた。藪の中、桔梗が一輪だけスーッと開いていた。色のきれいなきのこも幾つか見ながら、弓削八幡に着いた時は脚がガクガクになっていた。それからまた 30 分程歩いて万富駅へ。キリンビールの迎えのバスで工場見学へ。

工場は休みで機械は動いてなかったが、モニターや、きれいな工場の中を見て、大きさにびっくり。何もかも圧倒された。最後にビールの試飲会。クリーミーな泡で被われた一番絞りは、しんどかった
今日一日を忘れさせてくれる様に喉を通っていった。
みんなも少し顔を赤らめ、ご機嫌な様子で帰路に着く。



【熊山を歩く】

河合(由)

備前の里をゆったり流れる吉井川を背に熊山駅があります。集札箱に切符を入れて出ると、山遊会のメンバー20人（女性5人）の登山準備で賑やかです。皆でストレッチをしいよいよ出発します。

登山口に着くと“森林浴”の文字が目に入り、残暑がまだ厳しい日だったので有難いと思った。わずかだが水の流れもあり、ほどほどに湿気を含んだ登山道は歩き易く、ゆっくりと歩調を取られているので気持よく登れました。一時間ほどで展望台に着く。暗い登山道から抜け、明るい視界に一級河川の吉井川を囲むように広がる田園風景、熊山駅周辺、走る電車などが映りほっと一息つく。再び薄暗い登山道をミンミンゼミの合唱を聞きながら、見晴らしのきく高台で涼しい風に体をほぐされたり、カエルの横顔にそっくりの大きな岩に迎えられたりしながら一時間ほど登ると熊山神社に着く。

神社の下の水場で手を清めると冷たくて頭もすっきりする。立派な石の鳥居をくぐり、まず参拝をしました。神社や周辺の歴史が大切に守られているように思う。

境内にある岩跡は挙兵の腰掛と旗立だったと太平記に記述されているらしい。

少し離れた熊山遺跡も立派な石積遺構で奈良時代の仏塔のようです。これが7世紀頃で、途中で眺めた二本の熊山天然杉が樹齢千年。歴史の宝庫なのですね。

ここの展望台からの眺めは素晴らしく、小豆島をはじめ瀬戸の海に浮かぶ大小の島々が濃淡に重なり美しいです。展望台にある丸太を削った熊さんも愛嬌があり頭を撫でておきました。

昼食を摂り 下山は万富方面へ、帰路も森林の山道を下りに下ります。

途中で白、黄、薄茶のきのこに目を奪われたり、奥まった山中にある刀匠の刃神社にも寄り、秋を告げる萩や桔梗が咲き始めている山道を抜けきると、突如 大胆に蛇行する吉井川の勇姿が現れ楽しませてくれました。水上バイクの音が響く麓を過ぎると弓削八幡宮に出ました。二時間程の下山コースを全員無事に終えてストレッチをする。

いよいよキリンビール岡山工場へ、急げどもなかなかたどり着かない遠い道のりでした。

工場見学で生産ラインを見せてもらいました。その時に飲ませてもらったビールの泡がクリームのように滑らかで美味しかったこと！

一杯で酔いがまわり、帰りの電車は座席に落ち着くなり眠り込んでしまいました。

高御位山とは趣の異なる山行で楽しかったです。幸せな一日に感謝。



【熊山登山と麒麟ビール工場見学に参加して】

中嶋

9月3日(日) JR姫路駅ホームに7:45集合 一路熊山を目指す 8:54着

駅前でストレッチの後 9:10砂川リーダーを先頭に登山行を開始した。しばらくは舗装道路を歩いた後、熊山登山道入り口の看板の所より山の中へ入っていった。私にとっては5回目の山行きである、あまりタフな方でない為今回も一抹の不安を持った中での参加であった。隊列の後方を歩いていたが、急な登り坂になると時々立ち止まる程のスローペースであったこと、初秋とはいえまだまだ日差しは強かったが、登山道は木々が深く程よい日陰となり、登山道も良く整備されていて歩き易かった為か、さいわいそれ程の疲れは感じなかった。

1時間後、展望台に到着、眼下に熊山の町や雄大な吉井川が展望できた。(何度か見学に行った熊山英国式ガーデンも山間の奥に見えました。)

ここでの休憩中に親子4人連れが こんにちは；と挨拶しながら追い抜いていった。他にも登山者がいるようであった。

その後も1時間ほど上りが続き、熊山神社に到着、お参りした後休憩、全員の記念写真をとった。それから少し登ると熊山遺跡(石積みの3段に出来た竪穴住居跡)があり早めの昼食となった。ここは集会場、トイレ、展望台がそろった公園であった。展望台からは、吉井川、児島市、岡山市、備前市、中央に大きく小豆島、遠くは屋島が展望できた。

12時過ぎに、龍神山、万富駅コースの登山道を歩きましたが、下が多いせいかペースが速く遅れずに歩くのに精一杯の感じでした。道中、道を間違えたり、蛇に出くわしたり、大きなキノコを見つけたりのハプニングもありましたが、2時すぎ、全員無事下山し、次の目的地である麒麟ビール工場への送迎バスに乗り込みました。

工場では、休日のため操業はしていなかったが、ガイドさんに付いて大麦、ホップ等原料を手にとって見たり、仕込み、発酵、貯蔵、ろ過、缶詰め等の製造工程の説明を聞きながら見学した。その後楽しみの試飲会がありおいに盛り上がりました。私も喉が渴いていたせいかビールが非常にうまかったです。

(ビールは6℃～8℃が一番うまいという事を初めて知りました。)

帰りは、JR万富駅4:08の電車に乗り、JR姫路駅で解散となりました。

楽しい1日を過ごさせていただき有難うございました



★三の峰山行【初めての山登り教室終了山行】

日 時：9月16日（土）～9月18日（月）

リーダー：砂川延也 参加者：17名

白山・三の峰 終了山行を終えて 松尾(美)

4月に開講された登山教室からはや6ヶ月が過ぎようとしています。座学から始まり高御位・飯盛山・六甲ロッククライミング・沢登り、小野アルプス・終了山行の実技が計画されていました。終了山行は白山三の峰でした、白山も一度は登ってみたいと思っていたので、絶対に参加しようと心にきめていました。ロッククライミング・沢登りは初体験、エー岩登れる？沢行ける？不安の中、今山さんが教えてくださるようにして岩に登って元の位置に戻ったときはホット・・・何とかクリア。これから先大丈夫？色々思わないで勇気を持って参加しよう！そして8月4日の小野アルプスに行ったときの暑かったこと、お水も余分に持って行ったけどほとんどユピカに着いたときは飲んでしまっていた、暑いときは水が予想以上に必要なことが体験出来て良かった。13日最後のミーティングを受け準備は普段と違ってキャンプ用品があったのでリュックに何度も入れたり、出したりで荷造りも結構楽しかった。16日お天気を気にしながらの出発です。何度か休憩をしながら福井ICに着き道中7月に起きた崖崩れを見ながら上小池キャンプ場に到着。テントを張り夕食の準備です。金島さん、待場さんを中心に手際よく加古川名物のカツ飯にサラダ、お汁粉まであり豪華な夕食が出来上がり、まずはビールで乾杯、

ビールの美味しかったこと、雨はまだやまない、暗くなってきたのでテントに入る、まだ7時でした。テントの中はお喋りでとても楽しかった！夢うつつに雨がまだ降っているような気配、明日はどうなるのかな？

17日5時起床、朝から雨、朝食をすませテントを撤収し山に行く準備、準備運動をしていよいよ終了山行開始です、雨やまないかな・・・私の憧れていた白山です、三の峰・・・ドキドキワクワクです。登山口までいく、さあ私達の終了山行の始まりです。

一步登山道に足を踏み入れると、階段でいきなりの急登でした。雨の為、下は濡れていて滑らな

行動記録		
場 所	着	発
9月16日（土）		
J R加古川北口		8:53
名塩ドライブイン	9:50	10:00
多賀ドライブイン	11:45	12:15
上小池キャンプ場着		15:45
9月17日（日）		
上小池キャンプ場発	6:45	
登山口（通過）	7:05	
山腰屋敷跡	7:25	7:30
六本松	8:35	8:45
剣ヶ岩	9:40	9:50
三の峰避難小屋	11:10	
三の峰頂上	11:35	11:45
三の峰避難小屋	11:50	12:10
六本松	13:45	14:00
山腰屋敷跡	14:40	14:45
登山口（ストレッチ）	15:05	15:15
上小池キャンプ場着	15:35	15:45
鳩が湯旅館	16:10	
9月18日（月）		
鳩が湯旅館		9:20
永平寺 参観	11:35	12:40
J R加古川北口		18:30



夕食前のカンパイ

いように気をつけながら山腰跡で休憩、緩やかな登りで六本桧に近づくにつれまたまた急登になる。お天気が良かったら見晴らしはきっと良いのだろう。剣ヶ岩へと歩くうちに雨も上がり周りの山々が幾重にも重なり綺麗にみえてきて、快適な尾根歩きです。そして登山道には可憐な花が沢山咲いていました。三の峰の避難小屋に着き荷物を置き、いよいよ三の峰の頂上を目指す。

山頂には15分ほどで到着。会長と握手、お天気が良かったら360度の大展望だったかも？でも神様は私達の身方でしたね！皆で記念撮影をして避難小屋まで帰って昼食、風が出てきたので合羽を着てもと来た道を戻り無事下山。秘湯の温泉「鳩が湯温泉」に到着、温泉につかり夕食です。ご馳走がずらりとテーブルに並んでいました、岩魚の塩焼きにから揚げ、ますのお造りと盛りたくさんでした。郷土の神子踊りをまで見せて頂き、話も弾み充実した一日でした。18日最後の日になりました。温泉にもゆっくりとつかり朝のモーニングコーヒーも頂きゆったりとした気分で気持ちの良い穏やかな朝でした。昨日までのお天気と違って雨も上がり永平寺に参拝です。永平寺には行ったことがなかったの参拝がとても楽しみでした。これからの山行・家内安全をお願いしました。お土産も買って、帰る準備は整いました。後の楽しみは昼食・・・昼食は（うなぎや源与門）鰻丼、大きな鰻がご飯の中にもあり鰻の二段重ねを頂き、今回はグルメツアーかと思えるぐらいご馳走が沢山あり憧れの白山にも行くことが出来、秘湯の温泉にもつかり充分に堪能できる本当に楽しい終了山行でした。これからも山行に参加したいと思います

スタッフの皆様のお陰で私達だけの楽しい終了山行が出来ましたことを感謝します。



白山・三の峰に寄せて 松下

中西悟堂さんの“白山の美林に讃す”の詩の一節から

このふるさと この原生林
広大な山肌を蔽って
ぶあつな樹海の絨毯をめぐらす
みなかみよ。鳥、けもの、生き物の棲家。
日本第一の
空を摩す大美林のたたずまい。

このふるさと この原生林。
雪解水と大きい雨量を豊かな腐葉土で支えて
放射谷の水源を養い
加賀平野八千四百町歩を灌漑する
巨大な設計のつむぎ手、県民の大親。
鬱々たる巨柱の饗宴。



“初めての山歩き教室・・・終了山行で白山登山する。”・・・3月のある日の朝刊で見つけたこの記事・・・迷わず 即、申し込んだ。

青春時代に登った白山、もう一度登りたい・・・ずっと、願ってきた。

実際に計画されたのは白山・三の峰で 少しがっかりしたが、山歩き教室の内容は実に充実していた。

三の峰山行を成功させるカギは 装備と慣れないテント泊での体調管理かなと 自分なりに考えた。

家を出る直前まで迷ったのは靴。登山靴はもちろん要るが、もう一足・・・雨中でのテント場や移動の車内での靴・・・結局、ツッカケで出発した。これでも困りはしなかったけれど、トレッキングシューズの方が良かったかなと思った。

他には、用意した水の量が多すぎた。これも、大きな反省材料で・・・

あと、レーションの量は少し多目だったかもしれないが、それより、内容や撮りかたが課題かなと思う。

体調管理の方は、降雨でのテント泊と云う事もあって、雨の音、川の流れが耳から離れず、できるだけ体を休める為に静かに横になっていた。3シーズン用シュラフを用いた為か、寝苦しかった。

三の峰は想像していた通りのなだらかな山で、歩きやすい山だった。山道脇にはリンドウ、アザミ、トリカブトが咲いている。写真を撮りたいが、皆の歩を乱すのであきらめる。



剣ヶ岩を越えた辺りだったかな、周りの山々がくっきりと雲間に現れ、薄日がさしてきた。なんと、美しかったこと！天候によっては、途中下山も有りと覚悟して 歩を進めてきただけに、感激もひとしおだった。

オオカメノキの赤い実を目を奪われながら進んでいくと、三の峰避難小屋の手前で あるご夫妻の墓標に出会う。合掌。

避難小屋でザックを置いて、山頂まで登り詰める。

待ち受けた砂川さんはじめ、皆で喜び合う。記念撮影後、即、避難小屋へ下りる・・・マツムシソウ、ハクサンフウロが咲く避難小屋でも、少し休んで下山。休憩約10分、ちょっと、あっけなかった・・・

でも、無事、標高 2128Mの山頂に立てたのは、かけがえのない思い出です。山行を共にした皆さんとサポート隊の皆さんに感謝！ありがとうございました！！

